

令和5年度 全九州高等学校体育大会  
第73回 全九州高等学校柔道競技大会

実 施 要 項



2023

主 催	九州高等学校体育連盟 宮崎県教育委員会
後 援	公益財団法人宮崎県スポーツ協会 九州柔道協会 宮崎市教育委員会 西日本新聞社
主 管	宮崎県高等学校体育連盟 宮崎県柔道連盟

## 1 期日・会場

### (1) 開会式

日時 令和5年6月17日(土) 9:15 開式  
会場 宮崎県総合運動公園 ひなた武道館  
〒889-2151 宮崎市大字熊野 2206-1 Tel:0985-58-5151

### (2) 競技日程

日時 令和5年6月17日(土) 開会式終了後 男・女団体試合  
令和5年6月18日(日) 9:15～ 男・女個人試合

### (3) 閉会式

日時 令和5年6月18日(日) 試合終了後(15:30表彰式・閉式)  
会場 宮崎県総合運動公園 ひなた武道館

### (4) 諸会議

会議名	日時	会場
① 専門委員長会議	令和5年6月16日(金) 13:30～	ひなた武道館 2F 大会議室
② 審判会議	令和5年6月16日(金) 15:00～	
③ 監督会議	令和5年6月16日(金) 16:00～	

## 2 競技規則・方法

### (1) 競技規定

① 試合は(新)国際柔道連盟試合審判規定による。

② 九州高体連柔道専門部申し合わせ・確認事項

#### ア 団体試合

(ア) 試合時間はすべて3分とする。

ゴールデンスコアは時間無制限とする。

(イ) 優勢勝ちの判定基準は、「技有」又は「僅差」以上とする。但し、僅差は「指導差2」以上とする。チームの内容が同等の場合は、代表選手を任意に選出して代表戦を行う。代表戦で得点差がない場合は、個人戦に準じた判定基準で延長戦(ゴールデンスコア)を実施し、勝敗を決する。(技の効果、指導1リードで勝ちとする)

#### イ 個人試合

(ア) 試合時間はすべて3分とする。

(イ) 優勢勝ちの判定基準は、「技有」又は「僅差」以上とする。但し、僅差は「指導差2」以上とする。技による評価が同等の場合は、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。(技の効果、指導1リードで勝ちとする)

(ウ) 「技の内容」と「指導」の重み

一本勝ち=反則勝ち>技有り>指導(僅差)の順とする。

### (2) 競技方法

#### ① 団体試合

ア 参加16チームによるトーナメント戦で行う。

イ トーナメント戦の勝敗の決定は次による。

(ア) 勝者数の多いチームを勝ちとする。

(イ) (ア)で同等の場合は、「一本」「反則勝ち」による勝者数の多いチームを勝ちとする。

(ウ) (イ)で同等の場合は、「技有」による勝者数の多いチームを勝ちとする。

(エ) (ウ)で同等の場合は、代表戦を行う。

## ② 個人試合

ア 個人試合は体重別試合とする。

イ 試合はトーナメント方式とし、必ず優劣をつける。

## ③ 体重区分

[ 男子 ] 60kg 級・66kg 級・73kg 級・81kg 級・90kg 級・100kg 級・100kg 超級の 7 階級とする。

[ 女子 ] 48kg 級・52kg 級・57kg 級・63kg 級・70kg 級・78kg 級・78kg 超級の 7 階級とする。

[公式計量]：6月17日(土)団体試合終了から1時間の間に1回のみの計量で実施する。

[非公式計量]：6月17日(土)試合開始から団体試合終了までとする。

## 3 引率・監督について

(1) 引率責任者は、団体の場合は、校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は、校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、当該都道府県高体連会長に事前に届け出ること。

(2) 監督・コーチ等は、校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は、傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。

(3) 但し、各県における規定が定められ、引率・監督者がこの基準により限定された範囲内であれば、その規定に従うことを原則とする。

(4) 監督の役割は、自身の選手が大会会場に入場してから退出するまでの間、選手の行動に責任を持たなければならない。

(5) 監督の行為・言動について

① 試合が止まっている間(「待て」から「始め」)のみ、選手に対し指示を与えることが出来る。

② 次の行為を禁止する。

(ア) 試合が続行している最中に指示を出すことや試合中に立ち上がること。

(イ) 対戦相手や自身の選手を侮辱する言動。

(ウ) 試合中の判定に対する抗議。

(6) 罰則規定

① 1回目は審判員が合意の上、口頭による「警告」を与える。

② 2回目は審判員が合意をし、大会委員長または審判長に報告の上、大会委員長または審判長の責任のもとに試合が終わるまで監督席から退場させる。

※ 次の試合(対戦校)からは、監督席に座ることができるが、その後も改善されない場合は、大会期間中をとおして、監督席への着席を認めない。

## 4 参加資格

(1) 参加者は、各県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、本競技実施要項により、九州大会の参加資格を得た者に限る。

(2) 令和5年度各県柔道連盟(協会)を経て、(公財)全日本柔道連盟に登録をした者。

(3) 平成16(西暦2004)年4月2日以降に生まれた者とする。但し、出場回数は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。

(4) チーム編成においては、全日制・定時制・通信制課程の生徒による混成は認めない。

(5) 以下の場合に限り、複数校合同チームの大会参加を認める。

ア. 部員不足に伴う合同チーム

(都道府県高等学校体育連盟会長により予選会から参加が認められた場合)

詳細は、(公財)全国高等学校体育連盟が定める「部員不足に伴う複数校合同チーム参加規程」と専門部が定める「競技別部員不足に伴う複数校合同チーム参加ガイドライン」

による。

イ. 統廃合対象校による合同チーム（統廃合完了前の2年間に限る）

- (6) 転校・転籍後6ヶ月未満の者は参加を認めない。（外国人留学生もこれに準じる。）但し、一家転住等やむを得ない場合は、所属高体連会長の許可があれば、この限りではない。
- (7) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長及び所属高校連会長の承認を必要とする。
- (8) 参加資格の特例による学校の参加については、全九州高等学校体育大会開催基準要項の通りとする。
- (9) 脳震盪について、選手および指導者は下記の事項を遵守すること。
  - ① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
  - ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。（なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。）
  - ③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。
  - ④ 当該選手の指導者は、大会事務局および（公財）全日本柔道連盟に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- (10) 皮膚真菌症（トングランス感染症）については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
- (11) 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策については別途定める。事前に出場校に連絡するとともに大会ホームページに掲載する。参加者は、主催者が定める新型コロナウイルス感染症の感染予防措置を必ず遵守すること。なお、大会期間中に感染予防措置を遵守できない参加者には、参加の取り消しや途中退場を求める場合もある。

## 5 参加制限

- (1) 団体試合 各県 男子・女子 各2チーム

	監督	選手	補欠	計
男子	1	5	2	8
女子	1	3	1	5

- (2) 個人試合 各県 男子・女子 各階級2名  
各県からの選手選出が定数に満たない場合は開催権で補充する。
- (3) 外国人留学生の参加については、団体男女とも1校1名以内は認める。

## 6 参加申し込み

- (1) 申込締切日 令和5年6月7日（水）必着のこと
- (2) 申込先 〒883-0052  
宮崎県日向市鶴町3丁目1番43号  
県立富島高等学校内  
宮崎県高等学校体育連盟柔道専門部 山元 健嗣 宛  
TEL 0982-52-2158 Fax 0982-54-9510
- (3) 申込方法 所定の参加申込書により3部作成し、各県高体連柔道専門部で集約する。  
1部は各県高体連の控えとし、2部を申込先へ送付する。  
※各県、男・女団体は1位・2位の順位を必ず決めておくこと。

## 7 参加負担金

- (1) 団体 1チーム 20,000円  
個人 1人 2,000円

- (2) 各県高等学校体育連盟（柔道専門部）は、各県でまとめて大会参加申込と同時に、参加負担金を下記の口座に振り込むこと。

振込先	宮崎銀行 日向東支店（店番）620
口座番号	（普通）168843
加入者名	県立富島高等学校高体連 事務長 黒木 孝一

- 8 組合せ 組合せ抽選会は宮崎県高等学校体育連盟柔道専門部で行う。  
（九州専門委員長が同席する。）

期日：令和5年6月9日（金）10時～ 場所：ひなた武道館 柔道場

- 9 表彰 団体・個人ともに3位までを表彰する。（ベスト8を5位とする）

## 10 宿泊

- (1) 参加者の宿舎は大会事務局の指定する宿舎とする。宿舎の割当ては、大会事務局で決定し、各参加校に通知する。
- (2) 所定の申込用紙に必要事項を記入の上、2部作成すること。なお、1部は所属高等学校体育連盟控えとし、1部を各県高等学校体育連盟競技専門部が取りまとめ、参加申込書に同封し送付すること。
- (3) 宿泊費は、1人当たり1泊2食8,500円（税・サービス料込み）とする。
- (4) 宿泊決定後の宿泊人数の変更等については、当該校の引率責任者が直接、宿舎へ連絡を取り、相互で確認すること。
- (5) ア 昼食弁当代は600円（税込）とする。  
イ 引率責任者が必要数を取りまとめ、宿泊申込書内の様式で申し込むこと。  
ウ 引率責任者は申込内容に変更が出た場合、変更期限内に業者指定の方法で連絡すること。

## 11 参加上の注意

- (1) 競技中の疾病・傷害などの応急処置は、主催者側で行うが、その後の責任は負わない。
- (2) 参加選手は、必ず健康保険証を持参すること。
- (3) 申込後、参加選手に変更が生じた時には、所定の選手変更届と診断書等を添えて6月16日（金）の14時30分までに、大会本部に届けること。

### 【注意事項】

- ①変更人数は各チーム1名とする。
- ②選手変更をされた選手は個人戦を含んだ一連の試合に参加できない。
- ③補欠に補充された選手は、チームの2試合目より試合者を変更できる。
- (4) 団体試合のチームのオーダーは、段位によらず自由とする。
- (5) 試合毎のオーダーの変更は認めない。
- (6) 補欠のオーダー変更は、変更する選手の位置に入れ、一度退いた選手は再度出場することはできない。

- (7) 参加資格に疑義のないように特に注意すること。
- (8) 細部については、審判会議において決定する。
- (9) 監督の服装については、審判員に準ずる服装であること。
- (10) 必ず柔道着にゼッケンを強い糸で縫い付けること。(縦横並びに対角線)
- (11) 練習会場

	ひなた武道館主道場	ひなた武道館柔道場
6月16日(金)	13:00～17:00	13:00～17:00
6月17日(土)	8:10～9:00	8:10～17:00
6月18日(日)	8:10～9:00	8:10～競技終了まで

(12) 連絡事項 ※ 組合せの推薦基準について

- 1) 組合せ表(1)(3)(5)(7)(9)(11)(13)(15)の奇数に各県優勝校を抽選により入れる。
- 2) 各県2位を偶数の位置に抽選により入れる。但し、この場合同県で組む場合があるので、Aパートに1位が入っていれば、2位校はBパートにて抽選する。個人も同様に抽選する。

12 個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて

- (1) 九州高体連が別に示す「九州高体連主催大会における個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて」に則った対応を行うものとする。
- (2) 競技専門部は「九州高体連主催大会における個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて」を競技実施要項及びプログラムに必ず掲載するとともに、大会中は一般観客等に周知するものとする。
- (3) 肖像権の取扱いについては、九州高等学校体育連盟が別に示す「九州高等学校体育連盟肖像権取扱規程」に則った対応を行うものとする。

13 新型コロナウイルス感染症対応について

- (1) 九州高等学校体育連盟が別に示す「新型コロナウイルス感染症対応 九州高等学校体育大会実施に関する基本方針」に則った対策を行う。